

平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月9日

上場会社名 サンコーテクノ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3435 URL <http://www.sanko-techno.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 洞下 英人
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部長 (氏名) 甲斐 一起 (TEL) 04-7192-6638
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	11,675	3.9	747	1.9	756	1.9	501	2.7
29年3月期第3四半期	11,239	△8.5	734	△17.8	743	△12.7	487	△11.2

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 630百万円(72.2%) 29年3月期第3四半期 366百万円(△6.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	61.52	60.85
29年3月期第3四半期	59.94	59.41

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	15,510	11,325	71.3
29年3月期	15,286	10,847	69.3

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 11,063百万円 29年3月期 10,599百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
30年3月期	—	0.00	—		
30年3月期(予想)				22.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,300	5.2	1,200	6.7	1,190	6.3	800	1.1	98.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	8,745,408株	29年3月期	8,745,408株
30年3月期3Q	593,321株	29年3月期	606,786株
30年3月期3Q	8,147,610株	29年3月期3Q	8,138,622株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、個人消費の改善に遅れがみられたものの、政府による経済政策等により、企業収益や雇用情勢の改善がみられ、景気は緩やかな回復基調となりました。

当社グループが関連する建設市場におきましては、都市再開発や、東京オリンピック・パラリンピック関連事業を中心として、民間設備投資・公共投資ともに底堅い動きがみられました。しかしながら、技能労働者の慢性的な不足等による建築着工量の減少や地域格差が解消されていないことに加え、利益面においては、資材価格や労務費の高騰等による影響が一部顕在化しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は11,675百万円（前年同四半期比3.9%増）、営業利益747百万円（同1.9%増）、経常利益756百万円（同1.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は501百万円（同2.7%増）となりました。

各セグメントの業績は以下のとおりであります。

①ファスニング事業

各種設備工事等の需要回復に伴い、当社の主力製品である金属系あと施工アンカーの販売が堅調に推移いたしました。また、耐震工事等の減少により低迷していた接着系あと施工アンカーの販売が底入れしたほか、土木関連を中心に、完成工事高が大幅に増加したことなどから、総じて順調に推移いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は9,120百万円（前年同四半期比7.7%増）、セグメント利益は1,150百万円（同9.5%増）となりました。

②機能材事業

アルコール測定器の販売及び電子基板関連の販売が好調に推移いたしました。一方、電動油圧工具関連は、国内販売が低調に推移いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は2,554百万円（同7.7%減）、セグメント利益は305百万円（同9.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より224百万円増加して15,510百万円となりました。これは主として現金及び預金が減少した一方、たな卸資産が増加したことによるものであります。

負債の合計は前連結会計年度末より253百万円減少して4,185百万円となりました。これは主として短期借入金が増加した一方、買掛金、長期借入金が増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末より477百万円増加して11,325百万円となりました。これは主として利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成29年5月12日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,598,321	1,335,957
受取手形及び売掛金	3,160,414	3,128,204
たな卸資産	3,077,494	3,639,605
その他	641,335	560,434
貸倒引当金	△1,603	△1,176
流動資産合計	8,475,962	8,663,024
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,632,479	1,678,096
土地	3,147,938	3,113,713
その他(純額)	767,224	779,562
有形固定資産合計	5,547,642	5,571,372
無形固定資産	72,097	60,218
投資その他の資産	1,190,671	1,215,853
固定資産合計	6,810,411	6,847,444
資産合計	15,286,374	15,510,469
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,269,610	1,080,308
短期借入金	813,343	1,005,008
未払法人税等	153,417	86,353
賞与引当金	116,472	93,116
その他	342,866	473,728
流動負債合計	2,695,711	2,738,514
固定負債		
長期借入金	440,816	173,310
役員退職慰労引当金	15,769	18,502
退職給付に係る負債	1,078,555	1,084,473
その他	207,977	170,398
固定負債合計	1,743,118	1,446,683
負債合計	4,438,829	4,185,198
純資産の部		
株主資本		
資本金	768,590	768,590
資本剰余金	581,191	584,668
利益剰余金	9,235,697	9,574,139
自己株式	△244,385	△238,991
株主資本合計	10,341,094	10,688,406
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,915	53,785
繰延ヘッジ損益	78,110	126,593
為替換算調整勘定	153,778	194,810
その他の包括利益累計額合計	258,804	375,188
新株予約権	58,848	60,012
非支配株主持分	188,797	201,663
純資産合計	10,847,544	11,325,270
負債純資産合計	15,286,374	15,510,469

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	11,239,291	11,675,389
売上原価	7,614,526	8,018,425
売上総利益	3,624,765	3,656,964
販売費及び一般管理費	2,890,555	2,909,159
営業利益	734,210	747,804
営業外収益		
受取利息	1,929	1,057
受取配当金	4,257	4,608
仕入割引	23,527	23,120
為替差益	33,564	40,982
投資不動産賃貸料	24,078	23,131
持分法による投資利益	1,051	702
その他	27,230	18,514
営業外収益合計	115,639	112,117
営業外費用		
支払利息	3,097	2,665
売上割引	84,931	86,129
その他	18,806	14,247
営業外費用合計	106,835	103,042
経常利益	743,014	756,879
特別利益		
固定資産売却益	334	35,046
特別利益合計	334	35,046
特別損失		
固定資産売却損	2	23,852
固定資産除却損	247	409
投資有価証券評価損	222	-
会員権売却損	3,192	-
特別損失合計	3,665	24,262
税金等調整前四半期純利益	739,682	767,663
法人税等	245,232	260,824
四半期純利益	494,450	506,839
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,628	5,625
親会社株主に帰属する四半期純利益	487,821	501,213

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	494,450	506,839
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,361	26,878
繰延ヘッジ損益	74,313	48,482
為替換算調整勘定	△218,885	48,323
その他の包括利益合計	△128,210	123,684
四半期包括利益	366,240	630,524
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	385,423	617,598
非支配株主に係る四半期包括利益	△19,183	12,925

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	ファスニング 事業	機能材事業			
売上高					
外部顧客への売上高	8,470,428	2,768,863	11,239,291	—	11,239,291
セグメント間の内部売上高 又は振替高	45,473	148,280	193,754	△193,754	—
計	8,515,902	2,917,143	11,433,046	△193,754	11,239,291
セグメント利益	1,050,561	335,800	1,386,361	△652,151	734,210

(注) 1. セグメント利益の調整額△652,151千円には、セグメント間取引消去7,615千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△659,766千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	ファスニング 事業	機能材事業			
売上高					
外部顧客への売上高	9,120,852	2,554,536	11,675,389	—	11,675,389
セグメント間の内部売上高 又は振替高	47,421	137,327	184,749	△184,749	—
計	9,168,274	2,691,864	11,860,139	△184,749	11,675,389
セグメント利益	1,150,207	305,277	1,455,485	△707,680	747,804

(注) 1. セグメント利益の調整額△707,680千円には、セグメント間取引消去8,776千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△716,456千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。